

## 第29回 口腔機能って何だろう？

＝「認知症の方」の食事拒否の原因と対処法について＝

(その4)

北九州在宅医療・介護塾  
塾長 久保 哲郎

安全に美味しく食べて頂くためには、介護する人が、上手に食べさせるコツについて知ることが大事だといわれていますので、今回は認知症の方に対する「食べさせるコツ」についてご紹介します。

まず、①目の前で魚の骨をとったり、食べやすくほぐしたりする。

食べ物を認識しづらくなってくると、魚の身をほぐしてから目の前に出すと、どのような料理か分からないので食べようとしなないことがあります。料理はそのまま盛り付けて出し、目の前で魚の骨をとったり、料理を食べやすい大きさにしたりして、どのような料理が出されているのか、また、どのような料理を食べようとしているのか認識しやすくしてみてもはどうでしょうか。

次に、②食べるペースに合わせる。

食事のペースは人それぞれです。口の中にある食べ物を飲み込まないうちに、次々

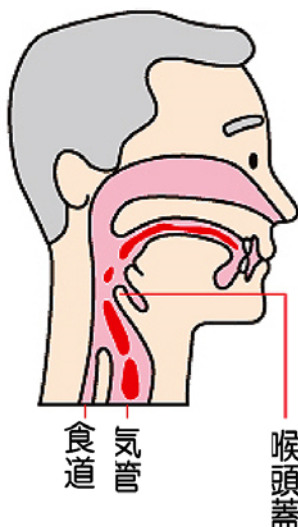
と食べ物を詰め込んでいませんか。

窒息や誤嚥になる恐れがあります。ゴクンと食べ物を飲み込んだ時には喉仏(のどぼとけ)が上がりますので、飲み込んだかどうかの確認は喉仏の動きをみて判断し、「ムセ」などが無い場合は気管ではなく食道に入ったことを意味します。喉仏の動きや音を確認しながら次の食事を口に運びましょう。

そして、③声掛けのタイミングに気を付けて、食べることに集中させる。

口に食べ物が入っている時には声をかけないようにします。口に食べ物が入っている時に声かけをすると、あわてて返事をしようとして誤嚥することがありますので注意しなければなりません。

次回に続きます。



### 誤嚥(ごえん)のしくみ

喉頭蓋(こうとうがい)が気管をふさぐ嚥下反射がうまくいかなかったため、食べ物などが気管へ流れ入ってしまうこと。

### 誤嚥性肺炎(ごえんせいはいえん)

口の中の食べかすや細菌などが、誤嚥によって気管から肺に入り肺炎を起こすこと。